

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
102 - 218	高等学校	外国語	英語コミュニケーション I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
231 いいずな	CI 724	New Rays English Communication I		

1. 編修の基本方針

この教科書を通して、多文化共生時代を生きるために求められる生徒一人ひとりの「たくましさ」と「しなやかさ」を育てることを編修の基本方針としました。

たくましさ：自分で考え、判断し、行動する力（自己表現力）

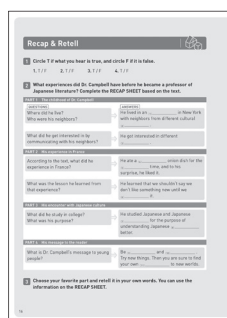
しなやかさ：異なるものと向き合い、協働を通してさまざまな問題を乗り越える力（対話力）

本教科書では、①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力」③「主体的かつ対話的に学習に取り組む態度」の3つの観点を通して、「たくましさ」と「しなやかさ」という2つの資質を育てることができるようになりました。

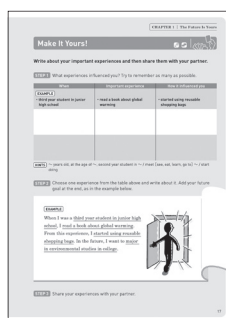
①「知識・技能」の観点（第1号）

- 英語表現するための語彙力、文法力、慣用表現力を育てる。
- 英語の言語資源を使って、さまざまなタスクを行う力を育てる。
- 英語でのアウトプット（スピーキングとライティング）とインプット（リスニングとリーディング）のためのスキルを鍛える。

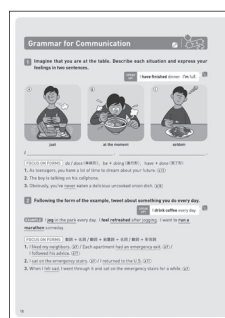
→英文を読むだけで終わらせるのではなく、本文で得た情報や文法などを使ってさまざまな表現活動を行います。さらに Vocabulary Networking では、本文に出た語句とその関連表現を覚えることができます。



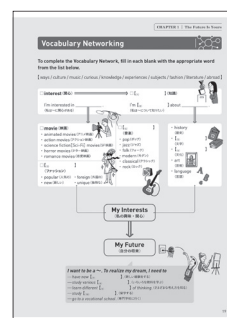
Recap & Retell



Make It Yours!




Grammar for Communication



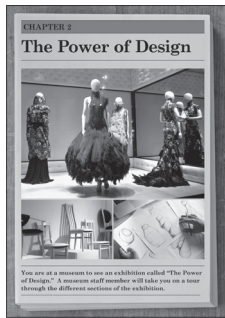
Vocabulary Networking

②「思考力・判断力・表現力」の観点（第4号，第5号）

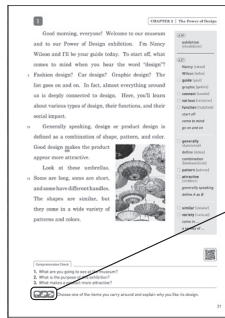
- 問題を把握し、「何ができ」「何をすべきか」を構想する状況把握力を育てる。
- 物事を論理的に思考する力を育てる。
- 現象を分析し、傾向性や因果関係などを見抜く分析力を育てる。
- 大きな問題の中から本質的なリサーチ・クエスチョンを引き出す問題発見力を育てる。
- 英語での事物描写、比較記述、物語展開、会話管理などを通して、自己表現力・対話力を育てる。

→CHAPTER 導入ページのデザインを本文の内容や形式に合わせて変えました。導入ページを見てどのような内容か推測してから読むことができます。また、本文の下にある  マークの発信 QUESTIONS に答えることで、

話の展開や問題をとらえたり、本文の内容に関して自分の意見を伝えたりできるようになります。



CHAPTER 導入ページ



本文ページ

発信 QUESTIONS

- 1人で考える (think)
- 2人で話す (pair)
- 複数で話す (share)

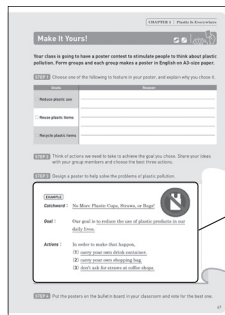
③ 「主体的かつ対話的に学習に取り組む態度」の観点（第2号，第3号）

- ・「なすべきこと」について行動計画を立て、それを実行する力を育てる。
- ・他者との協働を通して新たな可能性を創り出す共創力を育てる。

→本文の下にある マークの質問をペアまたはグループで行うことで、他者と話し合って答えを導き出す実行力を養います。また、Make It Yours! では段階的に他者と協働して行う活動を入れました。



本文ページ



Make It Yours!

Make It Yours! の活動例

- ・スピーチ
- ・ポスター作成
- ・プレゼンテーション
- ・翻訳
- ・ニュースレポート
- ・アクトアウト
- ・旅程表の作成

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
CHAPTER 1 The Future Is Yours ニューヨーク出身のロバート・キャンベル氏がなぜ日本文学に興味を持ち、その分野の第一人者になったのかを彼の幼少期から大学までの体験記から読み取る。	自分にとっての興味・関心が将来の職業や夢を叶えるきっかけになるというキャンベル氏のメッセージを読むことで、これから始まる高校生活、さらに将来や進路を考えるきっかけとした。(第2号)	pp.8-19
CHAPTER 2 The Power of Design 「デザインの力」展のツアーガイドの話を聞き、身の回りのもののデザインが私たちの生活にさまざまな影響を与えていることを知る。	ピクトグラムのようにデザインを工夫することによって言語に頼ることなく誰にとってもわかりやすい表示を目指していることや、地下鉄のデザインを通して社会を変えたりする試みを知ることで、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。(第3号)	pp.20-33
CHAPTER 3 Plastic Is Everywhere 私たちにとって身近で便利なプラスチックが生態系にどのような影響を与えているかという内容の雑誌記事を読む。	環境問題を考えてもらう題材として、高校生に身近なプラスチックを選んだ。便利なプラスチックが生態系に影響を与えるだけでなく、人間にとっても脅威となるという事実を知り、問題を解決するため自分たちに何ができるかを考える。(第4号)	pp.36-49

CHAPTER 4 OriHime — A Vehicle of Your Heart	病気や障がいによって社会参加ができない人々を、テクノロジーを使って手助けする吉藤氏の取り組みを読むことで、自らも社会に貢献する態度を養う。(第3号)	pp.50-65
吉藤健太郎氏がオリヒメと呼ばれるロボットを開発した理由と、オリヒメによってどのような未来を思い描いているのかを知る。		
CHAPTER 5 Satoko and Nada	漫画の登場人物である日本人のサトコとサウジアラビア人のナダの交流を通して、異文化交流に必要なことや多様性の重要性を学ぶ。(第5号)	pp.68-83
「サトコとナダ」の英訳された漫画と、作者のインタビューを読むことで、漫画に込められた作者の思いを読み取る。		
CHAPTER 6 The Voice of Children	インドに関して、貧困など負の面だけを扱うのではなく、スラムに暮らす子どもたちが自分たちの抱える問題を世の中に知ってもらおうと自主的に行動する姿を知ることで、自主および自律の精神を養う。(第2号)	pp.84-97
インドのスラムに住んでいる子どもたちが発行する新聞を読むことで、インドが抱える問題と新聞作成に関わる子どもたちの思いを知る。		
CHAPTER 7 Human Habitation on Mars	これまでの宇宙開発によって得られた技術や知識が私たちの生活や環境に役立っているという事実を知り、地球の大切さに改めて気づききっかけとした。(第4号)	pp.100-113
宇宙に関するインターネット記事を読み、なぜ人々は火星を目指すのか、そして宇宙開発による恩恵は何かを知る。		
CHAPTER 8 A Loving Story	1960年代に起きた実際の事件を取り上げた。困難を乗り越えて家族として一つになっていくラヴィング夫妻を通して、家族について、そして誰にとっても平等な社会について考える。(第3号)	pp.114-127
アメリカに住む若いカップルのリチャードとミルドレッドに起きた事件を通して、1960年代のアメリカが抱えていた問題を知る。		
CHAPTER 9 Edo, the Resilient City	江戸が度重なる火災から復興できたのは市民の消防組織や相互扶助が一因であったことを知り、現代を生きる私たちはそこから何を学ぶことができるかを考える。(第5号)	pp.130-145
江戸が度重なる火災から何度も復興し、発展したのはなぜか。図版を多く取り入れたプレゼンテーションからその理由を探る。		
CHAPTER 10 A Quality Education for All	私たちが当たり前だと思っている学校教育を受けられない子どもたちが世界にはたくさんいることを知る。また、日本の学校のよさを再認識し、学校生活を重んじる態度を養う。(第2号)	pp.146-159
ルワンダの内戦を生き延びた永遠瑠マリールイズ氏が日本に来て学んだこと、そして現在ルワンダで運営している学校のことを知る。		
READING PASSAGE 1 The Window	一人の患者がもう一人の体が動かせない患者のためにしたことを知り、他者を思いやる態度を養う。(第3号)	pp.162-167
同じ病室に入院している重症患者2人の交流を読む。		
READING PASSAGE 2 The Tale of the Three Brothers	3人兄弟の行動について話し合うことで、豊かな情操と道徳心を培う。(第1号)	pp.168-174
「死」から褒美をもらった3人兄弟の運命を読む。		

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① 高校での英語学習のサポート

- 小学校・中学校との接続を円滑にするために、文構造・文法事項については中学校までに学習したのもも文法ページで取り上げ、定着を図りました。
- 本文横の新語のうち、ぜひ覚えておきたい重要な語を太字にし、チェックマークを付けました。中学までに学習していることが多い語でも、定着していないと思われる語は新語扱いにしました。
- 正課に入る前に、English Learning のコラムを入れました。高校での英語学習のポイントを紹介しています。
- 課の間に Skills for Sound Production [Reading Comprehension, Writing, Listening Comprehension, Speaking] のコラムを入れ、それぞれのポイントを解説しました。コラム中の例文にはネイティブスピーカーが話す動画を用意しました。

② 主体的な学びのための工夫

- 新語・イディオムや本文の音声教科書の二次元コードを通して無償で利用できるようにしました。教科書の音声をいつでも聞くことができます。
- 題材の関連動画も教科書の二次元コードを通して見ることができます。題材で取り上げた人物の生の声やニュース映像などを見ることで、本文をより深く理解することができます。
- 題材の背景知識や発展情報を **FYI** のマークを付けて示しました。学習者のさらに知りたいという意欲に応えます。
- 巻末に Expressions for Communication のコーナーを設け、ペアまたはグループワークで必要な表現をまとめました。

③ 題材の選定

- 性別や人種、特定の世界観や宗教に偏らないように努め、広いものの見方ができるように配慮しました。
- 題材の内容は、生き方、環境、科学技術、人権・愛、災害、教育など、さまざまな分野から選びました。
- 題材の形式はエッセイ、説明文、対話文、小説、漫画など、さまざまな形式を取り入れました。さらに説明文は博物館ガイドの説明、雑誌記事、新聞記事、インターネット記事、プレゼンテーションなど、さまざまなスタイルを取り入れました。

④ 環境への配慮

- 管理された森林資源を使用するなど、再生可能で環境にやさしい原料や製法で作られた用紙を使用しています。
- 植物由来の油、およびそれらを主体とした廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ植物油インキを使用しています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時間数表)

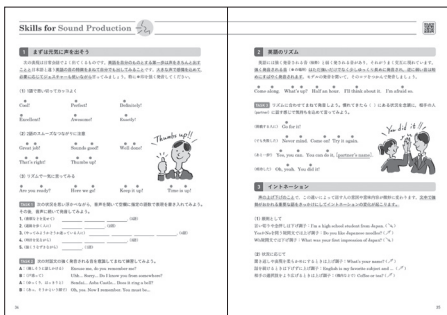
受理番号	学校	教科	種目	学年
102 - 218	高等学校	外国語	英語コミュニケーション I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
231 いいずな	CI 724	New Rays English Communication I		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 高等学校外国語科の目標を実現するための工夫

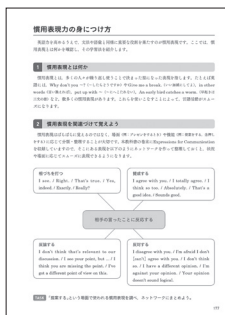
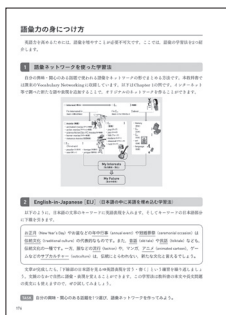
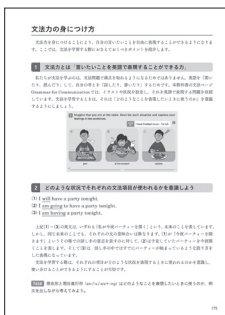
① 英語の音声や語彙, 表現, 文法の理解を深め, 話し手や書き手の意図を的確に理解するために

● 英語の音声の特徴を理解するために, **Skills for Sound Production** のコーナーを設けました。二次元コードの動画を使って, ネイティブスピーカーの音声に続けて練習することができます。



Skills for Sound Production

● 語彙, 表現, 文法の理解を深めるために, **文法力 [語彙力, 慣用表現力]** の身につけ方のコーナーを設け, 学習のポイントを解説しました。

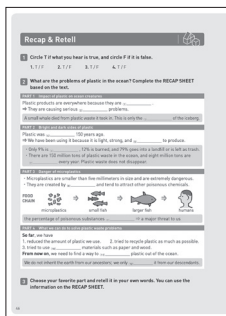


文法力 [語彙力, 慣用表現力] の身につけ方

● 話し手や書き手の意図を的確に理解するために, 本文ページ下に **Comprehension Check** の質問を設けました。また, 本文後の **Recap & Retell** のコーナーでは, さまざまな形式の問題で話し手や書き手の意図をまとめます。さらに, まとめた情報を使って自分の言葉で本文の内容を伝えます。



本文ページ



Recap & Retell

② 実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用するために

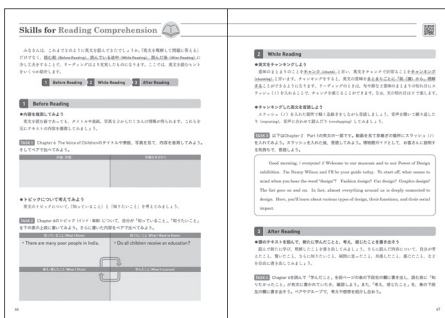
- 実際のコミュニケーションで使われるさまざまな形式・ジャンルの英文を取り入れました。また、本文の内容や形式に合わせて CHAPTER 導入ページのデザインを変えました。



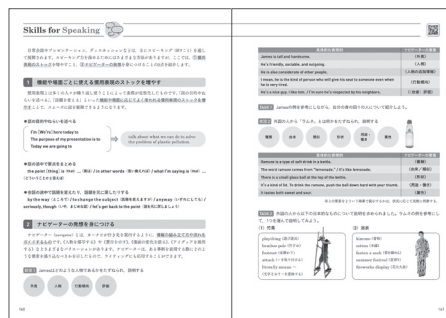
CHAPTER 導入ページ

形式の例：エッセイ、説明文（博物館ガイドの説明、雑誌、新聞、インターネット、プレゼンテーション）、対話文、インタビュー、小説、漫画
 ジャンルの例：生き方、デザイン、環境、科学技術、異文化理解、同世代、宇宙、人権・愛、災害、教育

- 目的や場面、状況に応じて適切に活用するために、Skills for Reading Comprehension [Writing, Listening Comprehension, Speaking] のコーナーを設けました。各活動を行う際のポイントを解説しました。



Skills for Reading Comprehension

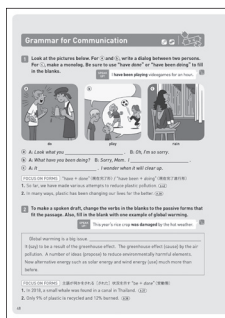


Skills for Speaking

- 目的や場面、状況に応じて適切に活用するために、本文後の Make It Yours! と Grammar for Communication のコーナーを設けました。Make It Yours! では本文で学んだことを使って、スピーチ、プレゼンテーション、ポスター作成などさまざまな活動を行います。Grammar for Communication では本文に出てきた文法項目を使って、イラストや文字で表した状況を表現します。



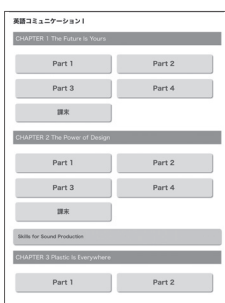
Make It Yours!



Grammar for Communication

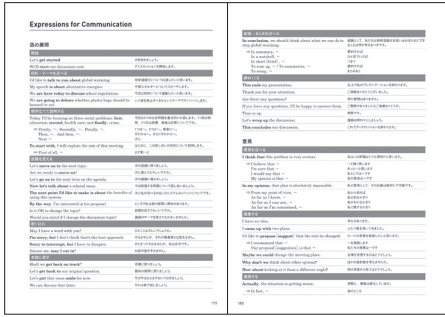
③ 主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図るために

- 二次元コードを通して、教科書本文と新語・イディオムの音声を聞くことができます。また、本文の関連動画も収録していますので、教科書の内容をさらに深めたり、他教科との連動につなげることができます。



音声・動画の再生画面

● 巻末に英語でコミュニケーションをとる際に役立つ表現集 Expressions for Communication を収録しました。



Expressions for Communication

(2) 各 CHAPTER の構成



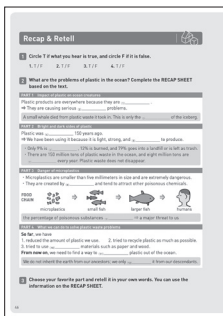
① CHAPTER 導入ページ



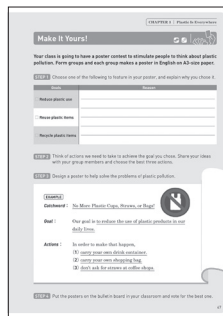
② 本文ページ



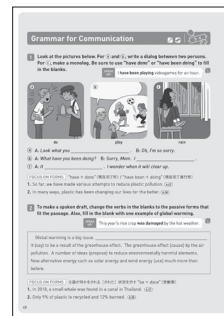
③ 通読用英文



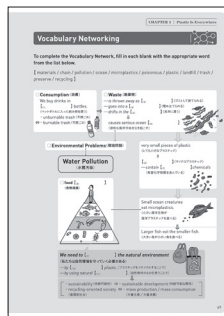
④ Recap & Retell (内容理解)



⑤ Make It Yours! (表現活動)



⑥ Grammar for Communication (文法)



⑦ Vocabulary Networking (語彙)

① CHAPTER 導入ページ	本文の内容や形式に合わせてデザインを変えました。	
② 本文ページ	① 側注	段落ごとに新語、イディオムの順に掲載しました。ぜひ覚えておきたい重要な語は太字にし、チェックボックスを付けました。また、品詞によって発音が異なる語には (w) などの品詞を示しました。
	② 本文	文法ページで取り上げている箇所には G1, G2 のマークを示しました。
	③ 二次元コード	新語・イディオムと本文の音声を取録しました。一部、関連動画も取録しています。
	④ 内容理解問題	各パートに 2～3 問の質問 (Comprehension Check) を設けました。
	⑤ 発信問題	各パートに 1 題、発信問題 (🗣️🗣️) を設けました。質問の内容や授業の形式に合わせて 1 人で考える (think) (🗣️), 2 人で話す (pair) (🗣️🗣️), 複数で話す (share) (🗣️🗣️🗣️) の活動を選びます。
③ 通読用英文	各パートの本文を再掲しました。通読や音読の練習に使います。	
④ Recap & Retell (内容理解)	リスニング、表形式の問題で本文の内容を整理した後に、リテリングの活動を行います。	
⑤ Make It Yours! (表現活動)	本文で学んだことを使って、スピーチ、プレゼンテーションなどの表現活動を行います。	
⑥ Grammar for Communication (文法)	本文に出てきた文構造・文法項目を使って、イラストや文字で表した状況を表現します。	
⑦ Vocabulary Networking (語彙)	本文に出てきた語句とその関連表現をネットワークで整理します。	

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容										該当箇所	配当時間		
教材名	言語材料	(1)	(2)	(3)											
				①言語活動						②言語の働き					
				ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア 使用場面	イ 働き				
CHAPTER 1 The Future Is Yours	時制／基本的な文構造①	ア, イ, ウ, エ	ア	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 家庭 (ウ) 日常会話	(ア) 相づちを打つ (オ) 説得する	pp.8-19	7	
CHAPTER 2 The Power of Design	接続詞／基本的な文構造②	ア, イ, ウ, エ	ウ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 博物館 (ウ) ガイド	(ア) 挨拶をする (ウ) 説明する	pp.20-33	7	
Skills for Sound Production		ア	イ	ア, オ	(ア)		(ア)					(イ) 褒める	pp.34-35	1	
CHAPTER 3 Plastic Is Everywhere	現在完了形, 現在完了進行形／受動態	ア, イ, ウ, エ	イ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ア) 地域 (イ) 雑誌	(ウ) 報告する (オ) 誘う	pp.36-49	7	
CHAPTER 4 OriHime — A Vehicle of Your Heart	関係代名詞 [制限用法]／過去完了形	ア, イ, ウ, エ	ウ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ア) 学校 (ウ) プレゼンテーション	(ア) 話題を変える (ウ) 例示する	pp.50-65	9	
Skills for Reading Comprehension		ア, イ	ア	ア, ウ		(ア)	(ア)		(ア)				pp.66-67	1	
CHAPTER 5 Satoko and Nada	to 不定詞／動名詞	ア, イ, ウ, エ	ウ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(イ) 漫画 (ウ) インタビュー	(エ) 賛成する (オ) 質問する	pp.68-83	7	
CHAPTER 6 The Voice of Children	分詞の形容詞的用法 (名詞＋分詞)／分詞構文	ア, イ, ウ, エ	イ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ア) 職場 (イ) 新聞	(ア) 言い換える (エ) 提案する	pp.84-97	7	
Skills for Writing		イ	ア	ア, カ				(ア)	(ア)			(ウ) 理由を述べる	pp.98-99	1	
CHAPTER 7 Human Habitation on Mars	助動詞／関係代名詞 [非制限用法]	ア, イ, ウ, エ	ア	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ) インターネット	(ウ) 例示する (エ) 推論する	pp.100-113	7	
CHAPTER 8 A Loving Story	関係副詞／関係代名詞 what	ア, イ, ウ, エ	ウ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ウ) 手紙, 裁判, スピーチ	(ア) 自己紹介する (オ) 依頼する	pp.114-127	9	
Skills for Listening Comprehension		ア	ア	ア, イ	(ア)		(イ)				(ウ) スピーチ	(オ) 注意をひく	pp.128-129	1	
CHAPTER 9 Edo, the Resilient City	仮定法過去, 仮定法過去完了／as if＋仮定法	ア, イ, ウ, エ	イ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ア) 地域 (ウ) プレゼンテーション	(エ) 仮定する (オ) 命令する	pp.130-145	7	
CHAPTER 10 A Quality Education for All	動詞＋名詞＋that節 [wh-節/if節]／強調構文	ア, イ, ウ, エ	ウ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 学校, 地域 (ウ) インタビュー	(ウ) 要約する (エ) 強調する	pp.146-159	9	
Skills for Speaking		ア, ウ	イ	ア, エ, オ				(ア)			(ウ) 紹介	(ア) 話題を変える	pp.160-161	1	
READING PASSAGE 1 The Window		ア, イ, ウ, エ	ア	ア, イ, ウ, エ, オ, カ		(ア)		(ア)	(ア)	(イ)	(イ) 物語	(ウ) 描写する (エ) 推測する	pp.162-167	3	
READING PASSAGE 2 The Tale of the Three Brothers		ア, イ, ウ, エ	ア	ア, イ, ウ, エ, オ, カ		(ア)		(ア)	(ア)	(イ)	(イ) 物語	(ア) 話題を変える (ウ) 描写する	pp.168-174	3	
											計	87			